

第43回東海中学校総合体育大会柔道大会

1 期日

令和3年8月6日(金)	午前11時00分から	受付	
	午前11時20分から12時20分	団体戦・個人戦計量	
	午前12時30分から12時50分	団体戦役員審判監督打合せ	
	午後1時00分から	開会式	
	午後1時30分から	団体戦競技	
	午後4時30分から4時45分	団体戦表彰式(予定)	
	8月7日(土)	午前9時15分から9時45分	個人戦計量/受付
		午前10時00分から10時20分	個人戦役員審判監督打合せ
		午前10時30分から	個人戦会式通告・競技開始
		午後3時30分から4時00分	個人戦表彰式/閉会式

2 会場

愛知県武道館

〒455-0078 愛知県名古屋港区丸池町1丁目1-4 電話 052-654-8541 FAX 052-654-8540

3 参加人数

- (1) 男子団体戦への参加チームは各県4チームで、計16チームとする。チーム編成は、監督1名、選手7名とする。
- (2) 女子団体戦への参加チームは各県2チームで、計8チームとする。チーム編成は、監督1名、選手4名とする。
- (3) 男子個人戦への参加は体重別8階級、各階級各県4名の32名で、合計128名とする。
- (4) 女子個人戦への参加は体重別8階級、各階級各県2名の16名で、合計64名とする。

4 競技上の規定及び方法

(1) 試合方法

ア 団体戦

- ・ トーナメント方式とする。
- ・ 勝負は、勝数の同じ場合は、内容により決定する。(①「一本」・「反則勝」②「技有」③「僅差」) 内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。
- ・ チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
- ・ 選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も、順次体重順の編成とする。いったん交代した選手は、再び出場できない。
- ・ 試合ごとに選手及び選手の位置の変更はできない。

イ 個人戦

- ・ 試合は、トーナメント方式で行う。
- ・ 階級は男女それぞれ次の8階級とする。
男子： 50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級
女子： 40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級
- ・ 第1日目と2日目に、会場で計量を行う。
- ・ 体重適合しない場合は失格とする。無理な減量はしないようにする。

(2) 試合時間

3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)の時間は無制限とする。

(3) 判定

審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定(2018-2020施行の新ルール)・国内における「少年大会特別規定」、【全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法】による。

ア 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは、技有10秒、一本20秒とする。

イ 試合は、「一本」「技有」「僅差」の内容によって勝者を決定する。

ウ 優勢勝ちの判定基準

- ・ 団体試合の個々の試合は、技の評価は「技有」以上とするが、技の評価が同等の場合、

「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。

「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。

- ・個人試合及び任意の選手によって行われる団体試合の代表戦は、技による評価が、同等の場合は、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。但し、時間内に勝敗が決しない場合は、時間無制限のゴールデンスコア方式によって勝敗を決する。

※ゴールデンスコア方式とは、先に「技有」以上の技による評価を得た試合者が、勝ちとなり、「指導」を取られ、相手よりも指導の数が多くなった試合者が負けとなる。

5 参加校・参加者の選出方法

各県中学校総合体育大会（県大会）を予選とする。

6 参加資格

第43回東海中学校総合体育大会実施要項9項による。

7 参加料

(1) 参加選手〔大会申込書に記入された選手〕一人につき2,000円とする。

※ 団体戦と個人戦の両方に出場する場合も、2,000円とする。

(2) 参加料は、各県の専門部員に申込書原本とともに提出する。

8 表彰

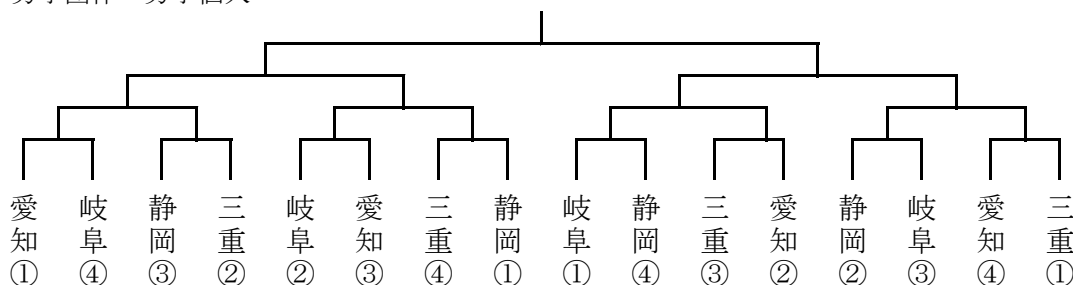
第43回東海中学校総合体育大会要項11項による。

9 申込方法

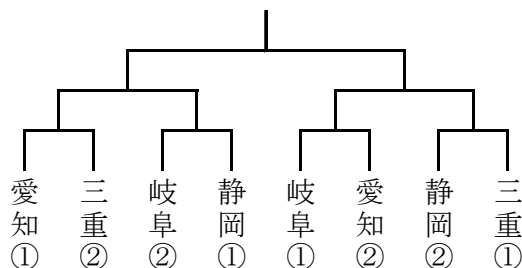
第43回東海中学校総合体育大会要項12項による。

10 組合せ

(1) 男子団体・男子個人



(2) 女子団体・個人



布地は白（晒・白綾）とする。大きさは、横30～35cm、縦25～30cmとする。

名字を上2/3、学校名を下1/3に記入する。

字体は太字ゴシック体（明朝体、楷書体でもよい）とする。男子は黒色、女子は赤色とする。

縫い付けの場所は、後ろ襟から5～10cm下部の所で、対角線にも強い糸で縫いつける。

女子は、白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又はレオタードを着用しなければならない。

※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(3) 絞め落ちについて

いわゆる「絞め落ち」となった選手は、その後の一連の試合に出場することはできない。

(4) 会場利用等に関わる案内は、各県委員長を通じて行う。